

♪ ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

3月に宇久井半島で見られるなかまたち！



「メジロ科 メジロ」

留鳥。全長 12cm。雌雄ほぼ同色。目の周りが白い。つがいでカワツザクラやツバキの花蜜を吸っている。



「ヒヨドリ科 ヒヨドリ」

留鳥。全長 28cm。雌雄同色。頬の茶色とボサボサの頭が特徴的。「ピーピー」と賑やか。



駒

「キンカメムシ科 オオキンカメムシ」

体長 20-25mm。集団越冬することで知られる大型カメムシ。タイミンタチバナ等の葉の裏に集まっている。



☆「バラ科 カワツザクラ」☆

オオシマザクラとカンヒザクラの自然交雑で生まれた日本原産の栽培品種。園地のものは植栽されたもの。



「クスノキ科 タブノキ」

赤みがかった大きな芽が目立つ。間もなく一斉に開き、葉や花序が伸び出す。



☆「モッコク科 ヒサカキ」☆

生育環境をあまり選ばない常緑小高木。この辺りではビシャコという。沢山の蕾がついている。



☆「ウラボシ科 マメツタ」☆

樹木や岩に茎をはわせる着生のシダ植物。栄養葉は肉厚で丸く、胞子葉はへら型で立ち上がっている。



☆「スミレ科 タチツボスミレ」☆

全国のいたる所に生える多年草。花は薄紫色で匂わない。葉はハート型。日本を代表するスミレ。



「カズラの種子」

園地のあちこちに綿毛が落ちている。主にサカキカズラ、テイカカズラ、シタキソウの種子。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くことも出来ますよ♪

駒…駒ヶ崎で観察することができます。

だんだんと寒さも緩み春を感じることができますね。
3月5日には冬眠している虫たちが動き始める啓蟄（けいちつ）を迎えます。
散策して鳥や虫、植物を観察しませんか(^o^)/

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

宇久井ビジターセンター
2022年3月前半号



吉野熊野国立公園 宇久井半島

春版

フェリーターミナル方面
通行できません

＜散策時間の目安＞

- ビジターセンター～地玉の浜コース (片道約15分)
① → ② → ④ → ⑤ 約700m
- ビジターセンター～駒ヶ崎灯台コース (片道約25分)
① → ② → ③ 約900m
- ビジターセンター～千尋の浜コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑧ 約1200m
- ビジターセンター～外の取コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑨ 約1200m



至 R42

自然観察の森

赤灯台

地玉(じこく)の浜

駒ヶ崎灯台

千尋の浜

(上地の浜)

松尾展望広場

外の取



凡例

- 駐車場
- あすまや
- 案内板
- 展望地
- 水道
- お手洗い
- 自動販売機
- 車道
- 舗装路
- 林内の遊歩道
- 階段

